

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年03月28日

計画の名称	大津市地域住宅整備計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	大津市												
計画の目標	『市営住宅ストックの整備や改善をはじめとする事業の計画的な実施により、良好な住環境の整備や住宅セーフティネットの拡大を総合的に推進し、豊かで安全なゆとりある住まい・まちづくりを実現する』。 歴史的風致維持向上計画重点区域内において、歴史的風致形成建造物の保存整備をとおして活用を実施することにより、歴史文化遺産を活かした大津のまちなみらしい住環境の保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	812	A	812	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	大津市公営住宅等長寿命化計画に基づく改修の推進 大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき実施した改修等の実施率 (実施率) = (改修を実施した市営住宅棟数) / (改修を予定する市営住宅棟数)	0%	%	100%
2	街なみ環境の整備による交流人口の増加 歴史的風致維持向上計画の重点区域の入り込み客数の増加 令和2年度当初の対象地域の入り込み客数の合計から5%増加	100%	%	105%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	大津市	直接	大津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅ストック総合改善事業)	長寿命化計画に基づく改修	大津市						489		策定中
	A15-002	住宅	一般	大津市	直接	大津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業)	長寿命化計画に基づく改修	大津市						119		策定中
	A15-003	住宅	一般	大津市	直接	大津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公的賃貸住宅家賃低廉化事業)	地域優良賃貸住宅等の家賃低廉化	大津市						50		策定中
											小計						658		
住環境整備事業	A16-004	住宅	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市再生住宅等家賃対策補助事業	都市再生住宅等の家賃対策	大津市						56		-
	A16-005	住宅	一般	大津市	直接	大津市	-	-	街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物の整備等	大津市						98	1.485	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
												一体的に実施することにより期待される効果 備考							
											小計						154		
											合計						812		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	31	64	59		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	31	64	59		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	31	64	59		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 大津市地域住宅整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

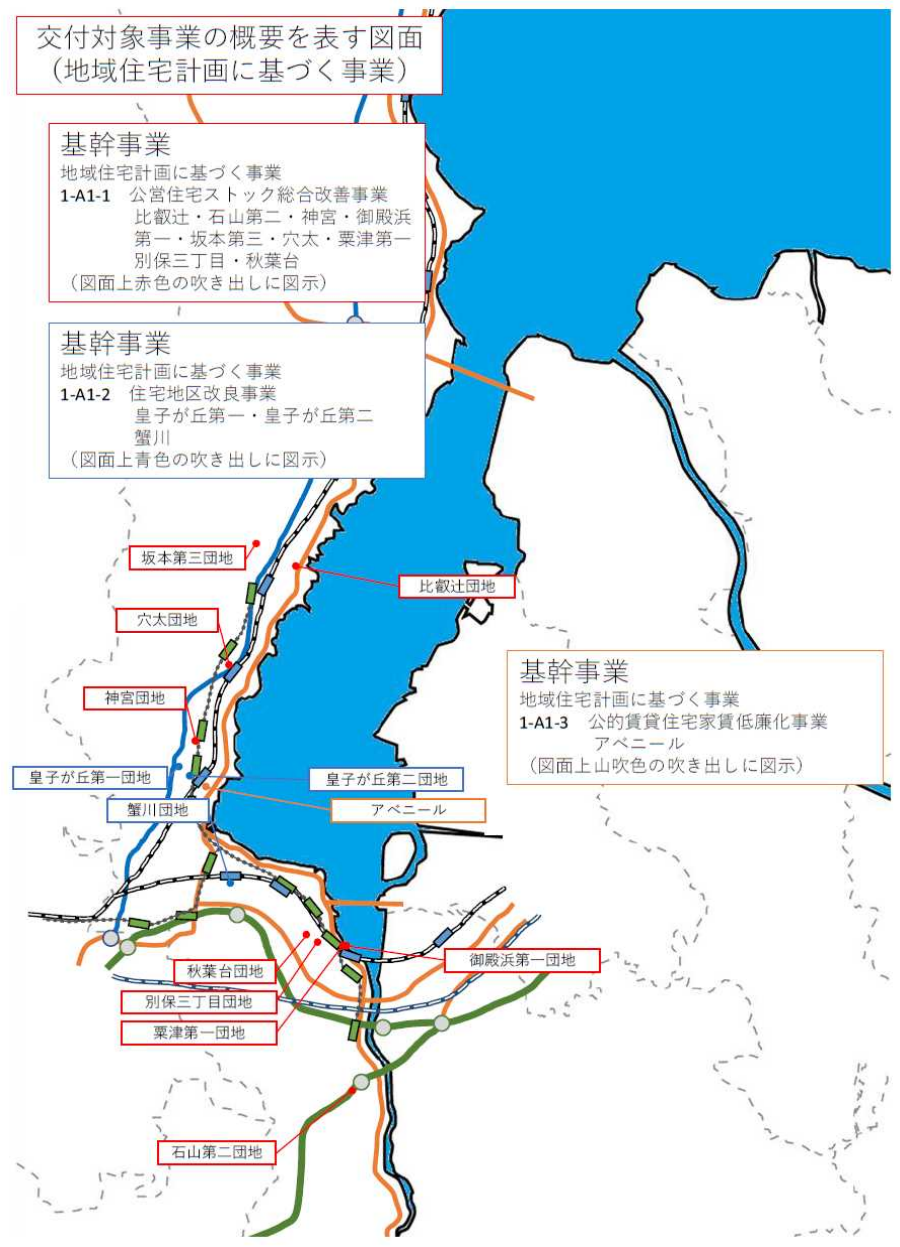
事前評価	チェック欄
III.計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III.計画の実現可能性 地域住宅計画を公表することとしている。	○
III.計画の実現可能性 地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	
III.計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	
III.計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	

交付対象事業の概要を表す図面  
(地域住宅計画に基づく事業)

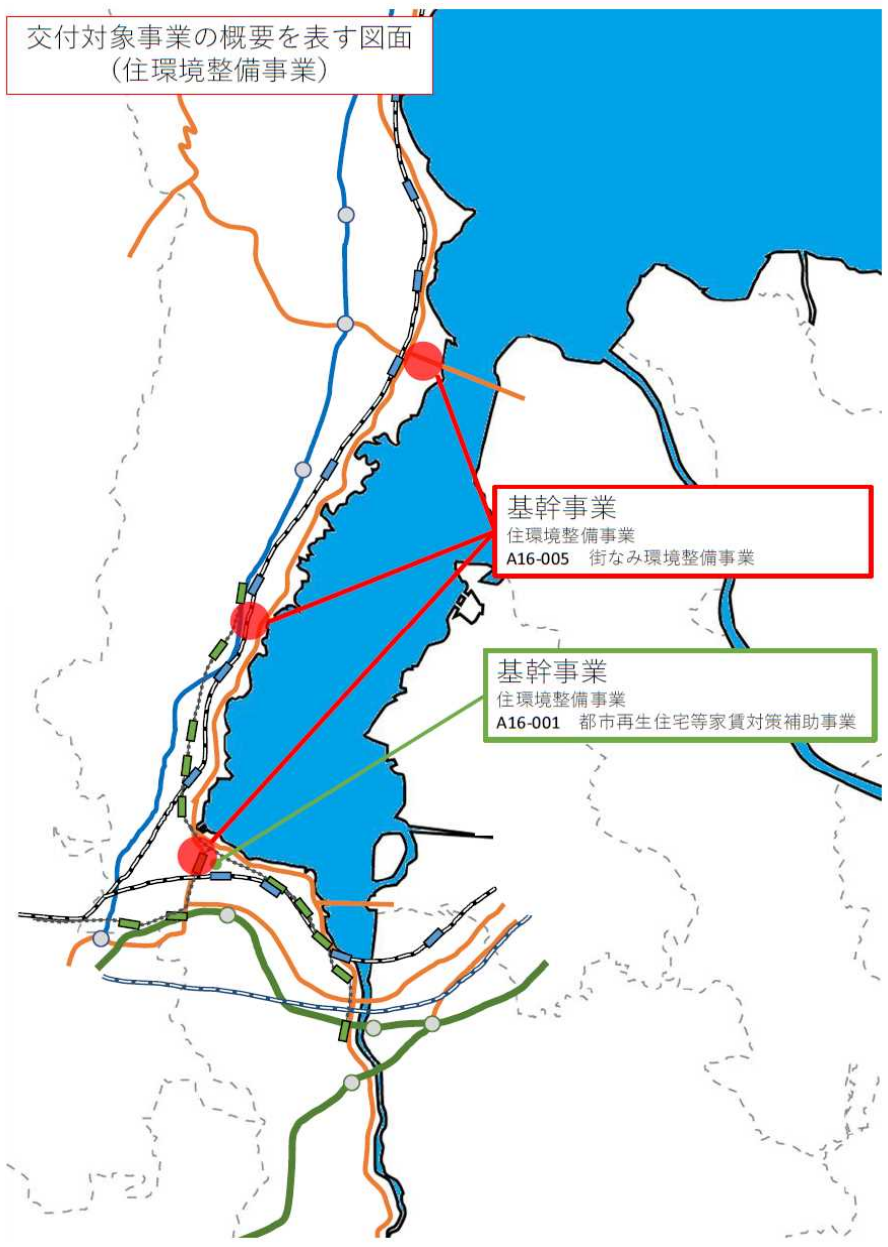
**基幹事業**  
地域住宅計画に基づく事業  
**1-A1-1** 公営住宅ストック総合改善事業  
比叡辻・石山第二・神宮・御殿浜  
第一・坂本第三・穴太・栗津第一  
別保三丁目・秋葉台  
(図面上赤色の吹き出しに図示)

**基幹事業**  
地域住宅計画に基づく事業  
**1-A1-2** 住宅地区改良事業  
皇子が丘第一・皇子が丘第二  
蟹川  
(図面上青色の吹き出しに図示)

**基幹事業**  
地域住宅計画に基づく事業  
**1-A1-3** 公的賃貸住宅家賃低廉化事業  
アベニール  
(図面上山吹色の吹き出しに図示)



交付対象事業の概要を表す図面  
(住環境整備事業)



基幹事業  
住環境整備事業  
A16-005 街なみ環境整備事業

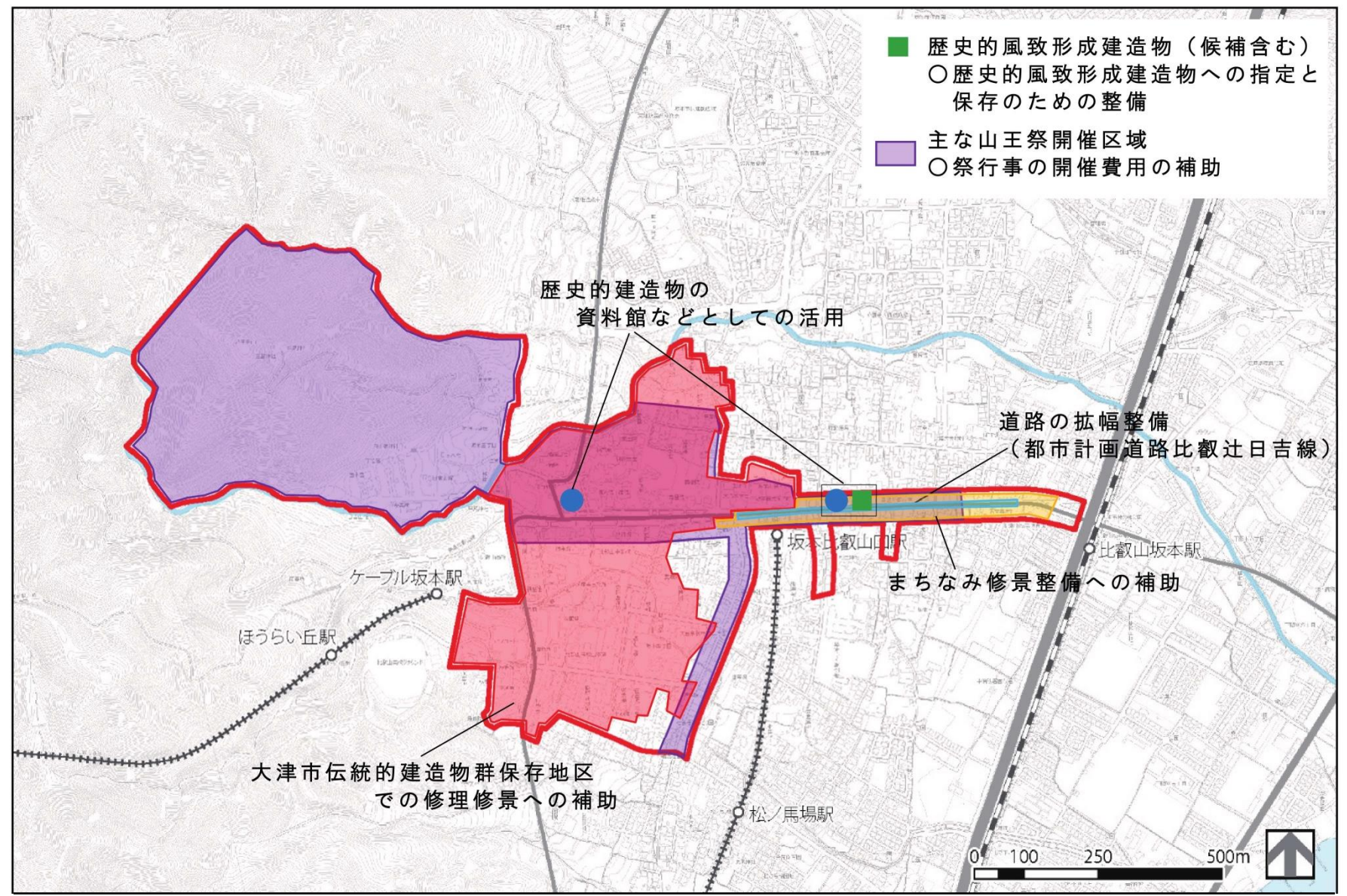
基幹事業  
住環境整備事業  
A16-001 都市再生住宅等家賃対策補助事業



### 整備地区計画図



整備地区計画図



整備地区計画図

